

令和5年6月28日（木）

各種大会及び九州大会・全国大会壮行式



学校長 下村 昌弘

- 全国大会、九州大会、そしてこれから全国大会や九州大会へ続く県大会・県コンクールに出場する皆さんへ、心からの激励を送ります。
- 部活動によって、それぞれ少しずつ立場が異なりますが、まずは、出場権を手に入れたこと、無事に参加することができる状態が整ったこと、それだけでもスバラシイことです。
- それはこれまでの取組の成果であり、努力のたまものだと言えます。まずはそのことに感謝し、ともに喜びたいと思います。
- そして、これまで取り組んできたことに自信をもって本番では全力を出し切って最高のパフォーマンスを発揮してください。
- 試合ですから、コンクールですから、結果的には順位がつくわけで、当然、ライバルや競争相手があります。
- しかし、自分ではコントロールできない他人と争うのではなく、過去の自分を乗り越え、今の自分と戦い、新しい自分を作り上げてください。
- さて、全国大会、九州大会に臨むことのできる皆さんは、一つ高いところから、これまでとはまた別の風景を見ることになるでしょう。
- 私も若い時、この学校で素晴らしいチームに恵まれ、全国大会に連れて行ってもらったことがあります。そこで感じたのは、全国にはすごい人たちがいるということです。控室での立ち振る舞い、試合直前に集中力を高める様子、試合におけるスキのなさ、、、そういう雰囲気や、技術を目の当たりにして大きな刺激を受けました。
- 皆さんもぜひそういう普段出会えないような人をたくさん見てきてください。そのこ



とがきっと財産になります。

- どんな結果が待っていようとも、皆さんは既に勝者です。先ほども言ったように、出場すること自体がすばらしい成果です。これまでの経験を大切に、誇りをもって試合に臨んでください。
- そして、これまで一緒に練習してきた仲間を胸に、これまで支えてくれた家族や監督・コーチを胸に、自分は一人ではない。たくさんの人とつながって、今ここにいるんだということをイメージできた時、皆さんはまた一つ大きくなれるでしょう。
- 野球部の皆さん、NHK 杯いい試合でした。持ち前の機動力、明るさを存分に生かしてください。選手宣誓も楽しみです。皆さんには運がある。



- 弓道部の皆さん、惜しくも全国大会は逃してしまいましたが、手に入れた九州大会の機会を存分に生かしてください。ぜひ九州一を狙ってください。



- 少林寺拳法部の皆さん。いよいよ全国制覇を狙う時です。チャンスがあるのに、みすみす逃す手はありません。本気で、全力で、取りに行ってください。



- 吹奏楽部の皆さん、本来音楽は競い合うものではないと思います。演奏に正解があるものでもありません。素人が口幅ったいことを言うようですが、演奏を虚心坦懐に楽しむ、これが一番尊いことだと思います。心ひとつに楽しい演奏を期待しています。



- それから、個人やペア等で出場する陸上、水泳、相撲、自転車の各競技、そして、美術、放送、囲碁の皆さん、試合や発表、制作、対局は、個人に帰するものが多いと思いますが、よくここまで自分を鍛えてきました。何よりもそのことに敬意を表します。でもあなた方の後ろには、あなたを支えるたくさんの人たちがいることを忘れないでください。応援しています。
- 長くなりました。皆さんが一回りも二回りも成長して帰ってきてくれることを楽しみに待っています。では行ってらっしゃい！ 頑張ってください。 以上です。